

《S/N》-断絶からのコミュニケーション-

2010年。今年、日本の各地で、ダムタイプのパフォーマンス「S/N」の記録映像が上映された。初演から15年以上を経てもなお、鮮烈に現代社会と通じる芸術として、私たちに提示され続ける「S/N」。「S/N」を通して見る現代社会とは。そのアソシエイティブ・メディアとしての可能性について、検証を試みる。

入場
無料

上映とトーク SCREENING AND TALK

日時：2010.10.31[日] 13:00～
会場：名古屋大学 全学教育北棟 4階
多目的講義室 406

I. 《S/N》 上演記録映像の上映

13:00-14:30 《S/N》 上映
パフォーマンス《S/N》は、1996年以降、再演されていません。また、上演当時は後にこの舞台作品が映像作品として発表されることは想定されていませんでした。今回上映するのは、当時の記録映像を編集したものです。
※10.30 [土] 13:00-14:30 と 11.1 [月] 10:30-12:00 にも同会場にて上映のみ行います。

II. トーク

15:00-16:30 パネラートーク
16:30-17:00 ラウンジトーク

パネリスト プブ・ド・ラ・マドレーヌ (現代美術作家)
山田創平 (京都精華大学 専任講師 / 都市社会学者)
藤田淳志 (愛知学院大学 専任講師 / アメリカ演劇研究者)
池側隆之 (名古屋大学大学院 准教授 / 映像研究者)
島本昌典 (名古屋大学大学院生)

展覧会 EXHIBITION

日時：2010.10.25[月]-11.1[月]
10:00～18:00 (土・日休み)
会場：名古屋大学 全学教育南棟 1階
プロジェクトギャラリー「clas」
ギャラリートーク：2010.10.25[月] 18:00-20:00
「clas」にて

ダムタイプ 《S/N》 アーカイブ

創造することで満たされること...
創造することで傷つくこと...
ある種の断絶から生まれたパフォーマンス《S/N》。
展覧会では、同時に様々な立場で《S/N》に関わったダムタイプメンバーたちへのインタビュー映像と、そのテキストをパネルを交えて展示します。

《S/N》

「S/N」は、パフォーマンス、インスタレーション、セミナーショウ等の形で1990年代にダムタイプによって展開されたプロジェクトである。ダムタイプは1984年に京都市立芸術大学の学生達により結成され、2010年の現在に至るまで、現代美術、演劇、デザイン、ダンス、音楽、出版などのジャンルを横断する活動を続けている。パフォーマンス「S/N」(1994-1996)は、15カ国20都市で上演され、舞台装置、映像、音響、言語。身体構築による圧倒的な表現は、各地で大きな反響を呼んだ。

アソシエイティブ・メディア研究プロジェクト

新しいコミュニケーションの形、マスメディアへの対抗概念としていかなるものが可能か？
情報/作品に手を加えてゆくことそれ自体がコミュニティとして機能していくという、コミュニケーションの共有性を「アソシエイティブ・メディア」と捉え、その可能性を考察する研究プロジェクト。

アクセス

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車・1番出口より西へ5分、
全学教育北棟 4階 406
全学教育南棟 1階 南入り口横「clas」ギャラリー

